

仙台国際貿易港の整備利用促進に関する

# 要 望 書

平成27年7月31日

仙台国際貿易港整備利用促進協議会

会 長 鎌 田 宏

## 仙台国際貿易港の整備利用促進に関する要望

仙台塩釜港は、東北における国際海上輸送網の拠点として、東北地方の産業経済の発展、国際化の推進、復興に大きく寄与するものと期待されている。

東北地方唯一の国際拠点港湾である仙台塩釜港は、震災直後、一時港湾機能は完全に失われたが、関係者の懸命な復旧作業によって、現在、国際コンテナ定期航路は計6航路、国際フィーダーコンテナ定期航路は計8航路が開設されており、震災前を上回る水準に回復している。

今後は引き続き、荷主企業の仙台塩釜港を利用した物流の回復を図ると共に、定期航路の維持やさらなる航路の開設・増便など、貨物取扱量の増大に向けた取組みを推進する必要がある。

また、平成32年度の全面供用開始に向け、拡張整備の進む高砂コンテナターミナルについて、利便性の向上に向けた施策の検討・実施に官民一体となり取り組む。

よって、仙台塩釜港の完全復旧とさらなる発展に向けて、我々の決意を表明し、次の事項について積極的に取り組んでいくとともに関係機関に強く要望するものである。

## 記

- 1 仙台塩釜港が、東日本大震災による影響を乗り越え、今後も東北における国際海上輸送網の拠点として機能していくために、コンテナ貨物取扱量の回復をはじめ、コンテナ定期航路の維持や新規開設に向けたポートセールス活動、風評被害の払拭を官民一体となって強力に推進すること。
- 2 仙台塩釜港の港湾計画に基づく港湾整備を促進するとともに、拡張整備の進む高砂コンテナターミナルの利便性向上を図り、地域経済の活性化に寄与すること。
- 3 荷主企業および船社などに対し、仙台塩釜港の復旧・復興状況に関する最新情報の発信を積極的に行うこと。
- 4 仙台塩釜港の港湾施設の完全復旧を推進すること。
- 5 仙台塩釜港の優位性を一層高めるため、東北の立地企業から導入の要望が強まっている45フィートコンテナのさらなる利用促進を図ること。